

泉佐野
発

日本一の「まちづくり」

泉佐野市議会議長

千代松 大耕

ちよまつ ひろやす

市政報告(連絡橋問題)



連絡橋問題

2月10日(火)に泉佐野市議会では議員協議会がおこなわれ、「空港連絡橋の国有化に伴う対応について」の協議がおこなわれました。新田谷市長から今回の空港連絡橋の国有化に伴っての泉佐野市の税減収分に対しての国土交通省の支援策が説明されました。内容は市民のみなさまもすでに新聞やテレビ等でご存じかとは思いますが、関西国際空港の2期島の未供用地の約134ヘクタールの護岸嵩上げ工事をおこなうことにより土地が供用されることになり、泉佐野市には平成23年度から約5.7億円の固定資産税収が入ってくるようになります。

また連絡橋の買い取りが平成20年度予算でおこなわれますが、平成20年中におこなうのではなく、年が明けて平成21年になってからおこなうことになりましたので、この時点で泉佐野市は関西空港株式会社に対して平成21年度の連絡橋の固定資産税を課税することができるようになりました。複雑な話ではありますが、とにかく平成21年度は連絡橋の固定資産税が入ってくるようになります。

もともと2期島の未供用地は平成30年度までほつとかれるような予定でしたので8年前倒しされることと、連絡橋の平成21年度分の税収によって約50億円が補てんされることになりました。泉佐野市として連絡橋の買い取りによって被る固定資産税の減収分のうち約60億円を何とか補てんしてほしいと要望してきましたので、これではまだ足りていません。しかし残りの部分は今のところ未確定ですが、国土交通省はりんくうタウンの整備などに対して予算が配分していくとの方向です。

以上のような説明がおこなわれ、各議員からの質問がおこなわれました。「本当に固定資産税がそれだけでも入ってくるのか？」などといった質問がされましたが、市の税務担当者の答弁では約5〜6億円の税収増は見込まれるといったことでした。

上下分離方式



本会議場にて新田谷市長と

国土交通省が示してきた補てん策は関西の2期島の護岸嵩上げ工事を行うことにより未供用地であった部分が供用されるようになり、その税収増が、泉佐野市が連絡橋の国有化によって失う固定資産税の補てんとなる予定ですが、この整備費には、国だけでなく地元負担分として大阪府も約6億円を負担することになります。この地元負担分を橋下知事が「国が関空をどういうかたちで拠点空港にしていくかという案を示さない限り、予算をつぎ込む気はない。」と慎重姿勢を示していました。

ここで私が一つ懸念を抱いたのが、いつか国は関空の支援策に「上下分離方式」を実施しないかということであります。今、新聞紙上では関空の支援策として橋下知事が「伊丹―成田路線の廃止」を提唱し、また関空発着に限って国内線に海外参入容認といった報道がされていますが、約1兆円もの有利子負債を抱えている関空株式会社にとりまして、空港島の土地を保有する下モノ会社と空港経営していく上モノ会社を分離する上下分離方式が必要だといった意見が関西の経済界や学識経験者から出されています。

もしその上下分離方式が実現したらどのような形態になるかは定かではありませんが、考えられるのが空港島の公有化であります。空港島が公有化されてしまえば、現在、泉佐野市に入ってきている都市計画税は確実に入ってこなくなります。連

絡橋の税収減だけでも泉佐野市は大慌てしましたが、上下分離方式はその規模をはるかに超えているものだと思います。そのことを協議会の場で議長として新田谷市長に「上下分離方式をどのよう

に考えているのか？」と質問しました。
 新田谷市長は「関空の有利子負債を軽減するための上下分離方式には賛成だが、もしそのようなこと起こったとしても今回のようにそれによって被る税収入の減に代わるものは、きちんと補ってしまわなければならないように強く訴えていく。」と答弁されました。中曽根内閣の民活によって第三セクター方式を取り入れた関空株式会社ですが、現在の社会情勢とは合致せずに経営がうまくいっていません。連絡橋の利用料金を安くすることを目的とした今回の国有化でしたが、上下分離方式も関空の経営だけを考えたらありがたい話かもしれませんが、それによって泉佐野市が被る税収減は多大なものがありません。やはり地元自治体としての意見をきちんとして今の段階から言っていかなければならないと考え、議長として協議会で発言をいたしました。後日、泉南市長の向井通彦市長とお話をする機会がありました。向井市長もそのことを懸念されており、関空の対岸の2市1町で今から対策を講じていこうと言われました。

関西国際空港との共存共栄を掲げている泉佐野市としては関空の活性化に国費が投じられることを喜ばしいことですが、それによって市の財政に負の影響が及ぼされるのは市民の方々の生活を考

今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政勉強会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は市民の方々の意見交換やご質問にお答えいたします。どなたの参加もOKです。お待ちしております！

- | | |
|-------------|----------|
| 第51回「かけはし」… | 3月26日(木) |
| 第52回「かけはし」… | 4月23日(木) |
| 第52回「かけはし」… | 5月28日(木) |
| 第53回「かけはし」… | 6月25日(木) |

- 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
- 参加費 **無料**
- 時間 19:30~20:30

携帯用メールマガジンを開設しています！



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左のバーコードを携帯電話で読み取るか、
<http://mini.mag2.com/> または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

DoCoMo/au/SoftBank

ミニ集会で意見交換をしませんか？

2~3人の少人数でも構いませんので、市や地域の課題に関して、千代松大耕と意見を交換したいという方はご連絡ください。平日・午前中・昼間でもスケジュールが合えば、どこにでもお伺いします。

千代松大耕 プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米國Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選



(議会)

- 2003.5 市町村合併検討委員長
- 2004.5 第61代副議長
- 2005.5 厚生文教委員長
- 2006.5 監査委員
- 2007.5 行財政委員長
- 2008.5 第65代議長

(現在)

- (社) 泉佐野青年会議所 直前理事長
- (NPO) 大阪夢づくり協議会 理事
- 泉佐野市バレーボール連盟 会長
- 泉佐野市柔道連盟 理事
- 泉佐野市青少年指導員
- 泉佐野市交通指導員
- 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
- 泉佐野青空市場活協同組合 顧問
- (社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
- 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
- 同志社大学校友会泉州クラブ副代表
- 佐野中柔道部OB会 相談役
- 看護を考える市町村議員の会 副幹事長
- 自由民主党泉佐野支部 政務調査会長
- 自由民主党大阪第19選挙区支部 青年部長

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています！

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
 登録ページアドレス：<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

千代松大耕

検索

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

連絡先：泉佐野市松原2-5-31 TEL 458-1708 FAX 469-0311
 ホームページ：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
 メール：chiyoma51@hotmail.com
 発行部数累計 597,500部 第57号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。